

資料 1-2

第2回被害想定部会

地震動予測結果（修正）
（説明用）

平成27年6月30日（火）

地震動予測の修正

断層モデルの修正を実施（前回部会からの修正点）

- ・ 鹿野・吉岡断層：

1943年鳥取地震の震度分布と整合するように、強震動生成域の形状と位置、破壊開始点を修正。

- ・ 鳥取県西部地震断層：

鳥取県西部地震時の震度分布、観測データと整合するように、強震動生成域の位置、破壊開始点を修正。

- ・ 島根県鹿島断層：

破壊開始点を、鳥取県への影響が大きくなる位置に修正。

- ・ 倉吉南方の推定断層：

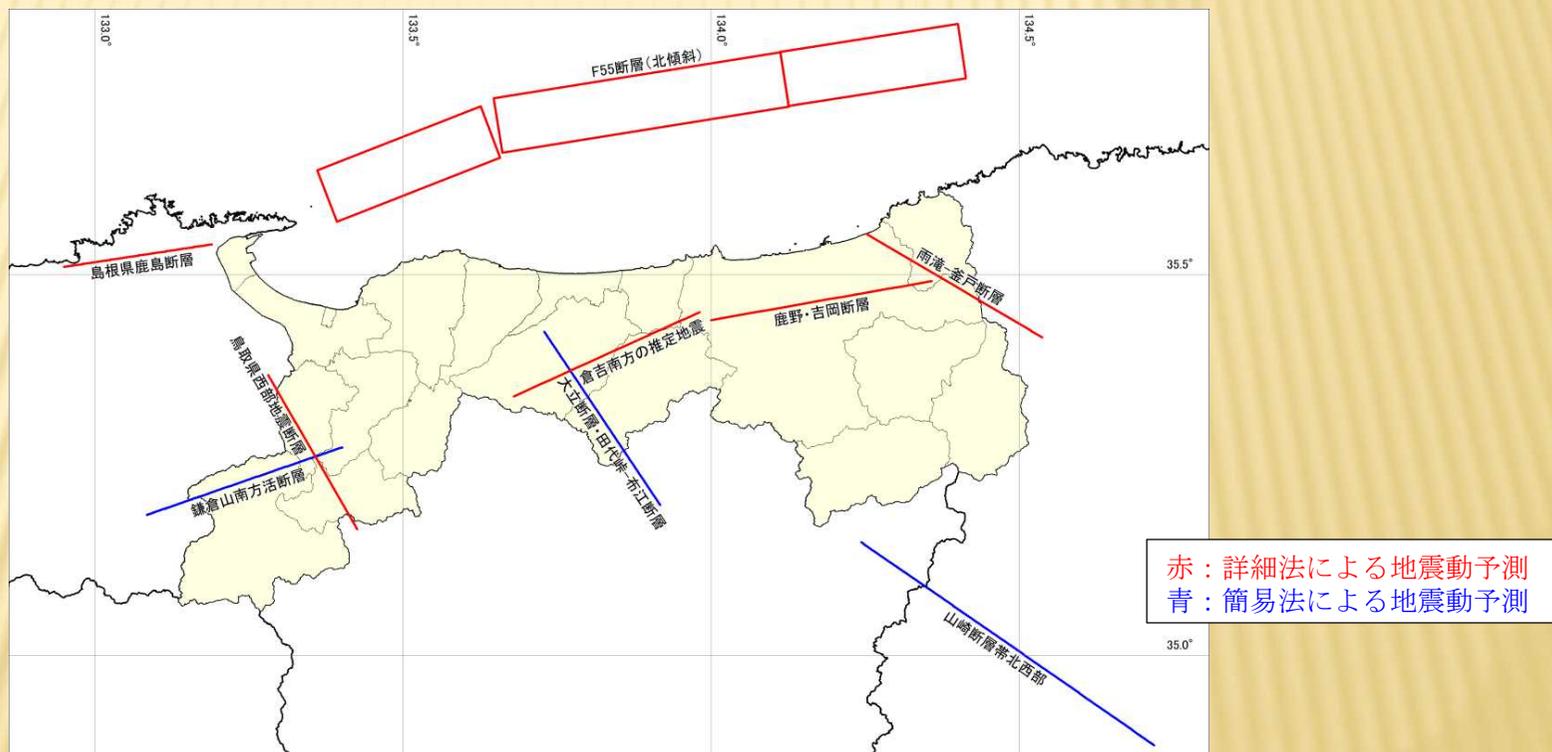
断層の走向を 66° に修正。（前回誤って 60° で計算していたため）

- ・ 雨滝一釜戸断層：修正なし（前回部会の結果を再掲）

- ・ F55断層：修正なし前回部会の結果を再掲

地震動予測

想定地震と断層パラメータの設定
設定は第1回委員会の方針による



想定地震の断層位置図

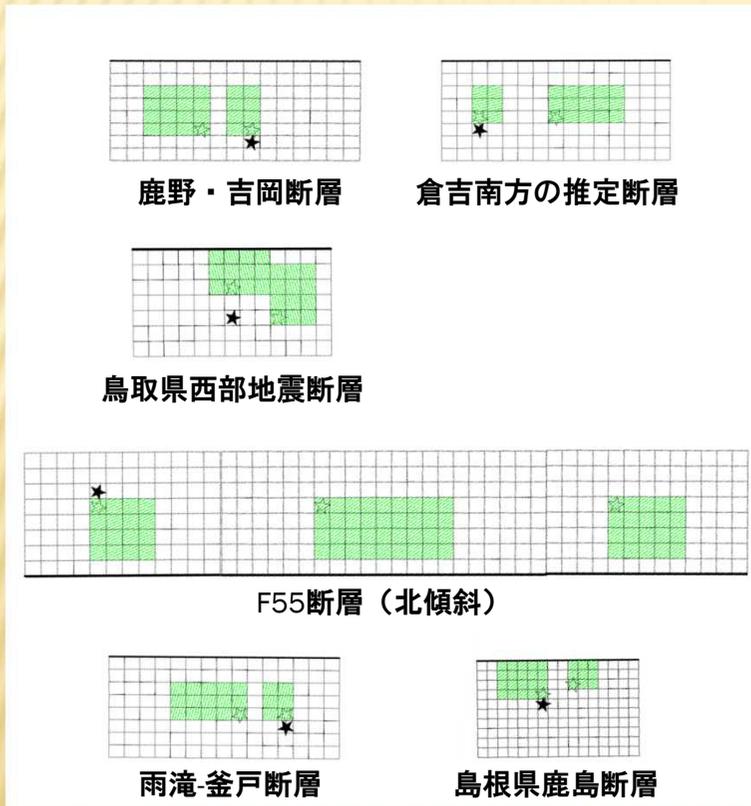
地震動予測は、上図の断層の他、簡易法により、「地表断層が不明な地震」
「南海トラフ巨大地震」を実施

想定地震の強震動生成域

<修正前後>

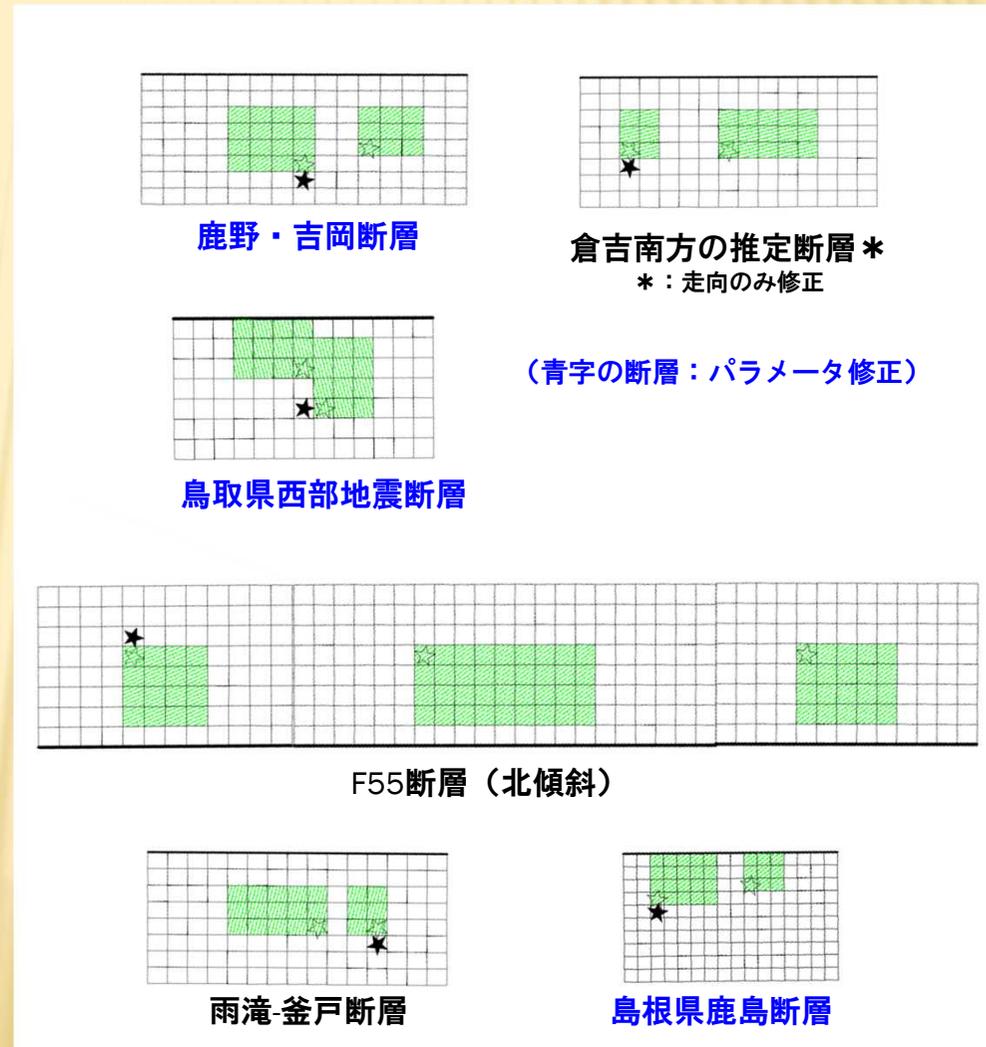
↓修正前

修正後→



- の部分：強震動生成域
- ★：断層全体における破壊の開始点（震源）
- ☆：各強震動生成域における破壊の開始点

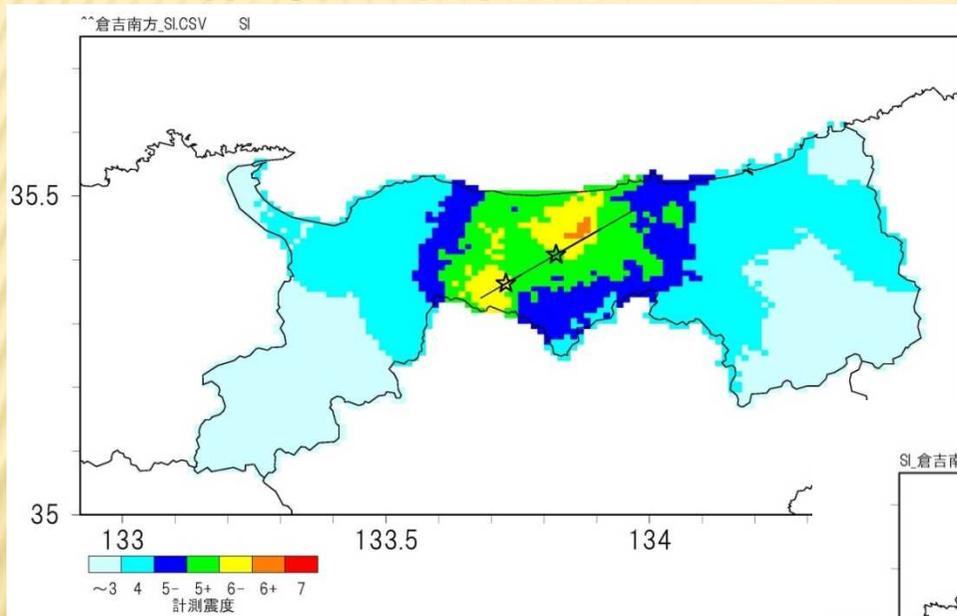
パラメータの詳細は資料1 P4~7参照



地震動予測結果（ハイブリッド合成法）（1）

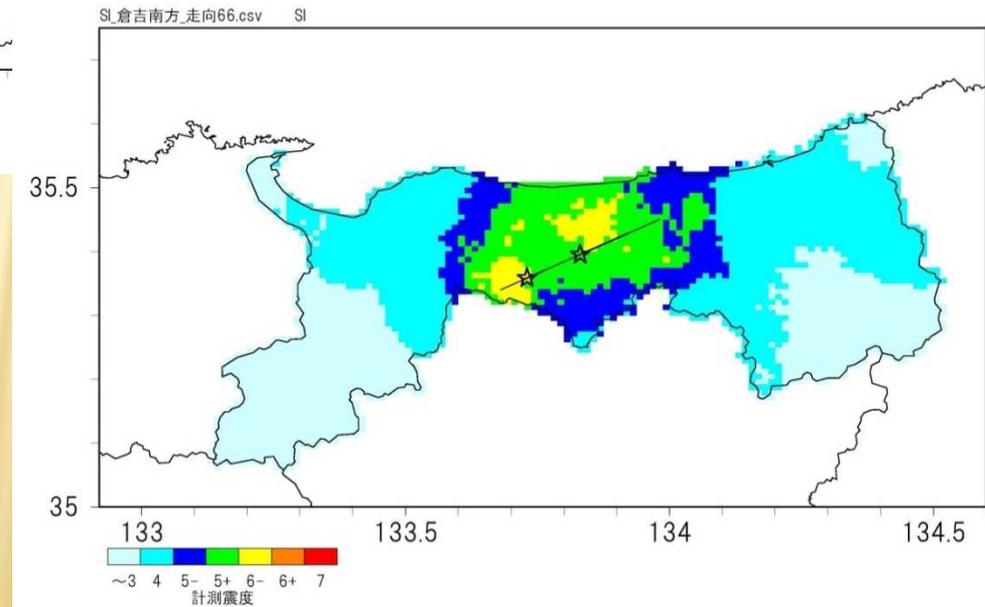
予測結果：倉吉南方の推定断層（工学的基盤震度分布）

<修正前後>



↑修正前

修正後→

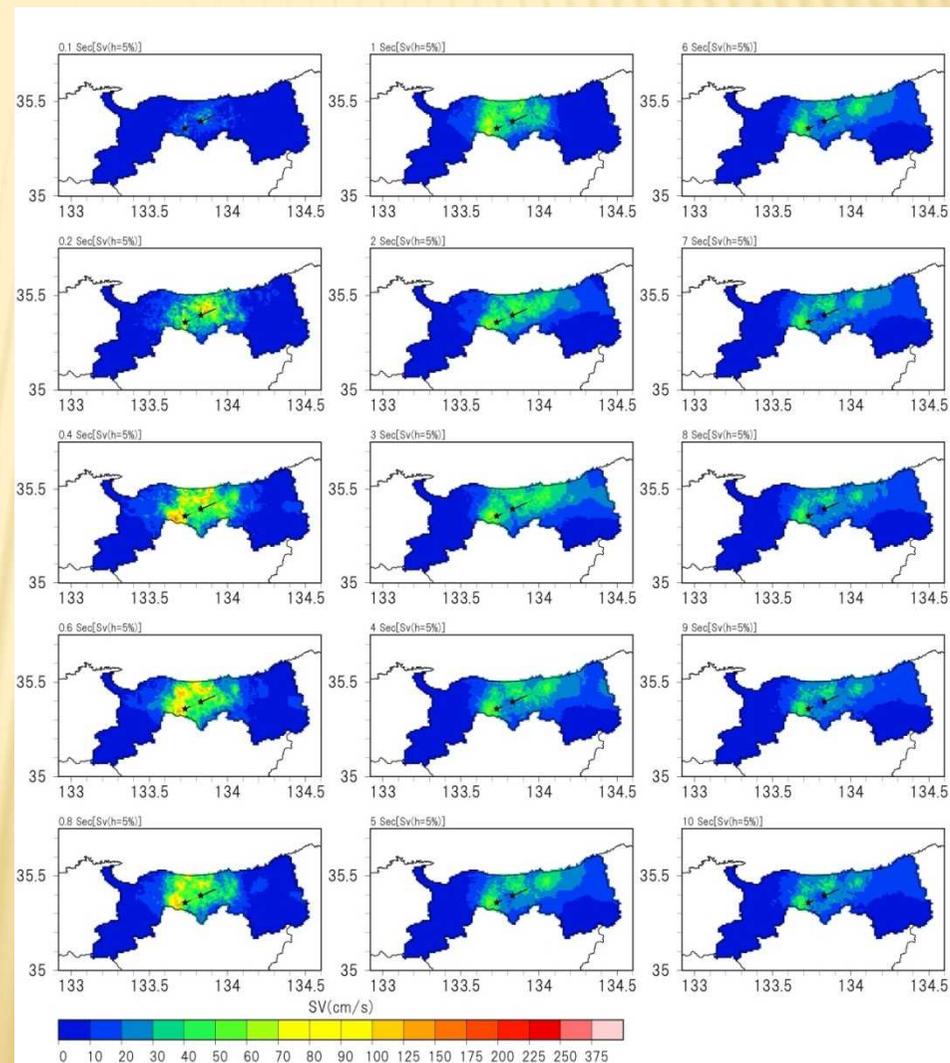


地震動予測結果（ハイブリッド合成法）（2）

予測結果：倉吉南方の推定断層（工学的基盤）

<修正後>

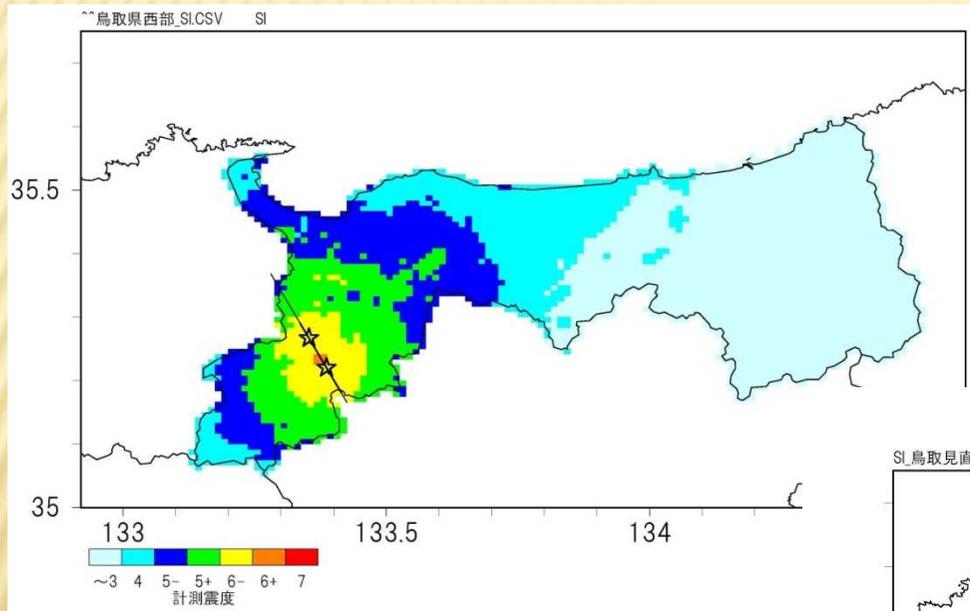
Sv（減衰5%）
（水平2成分ベクトル合成）



地震動予測結果（ハイブリッド合成法）（3）

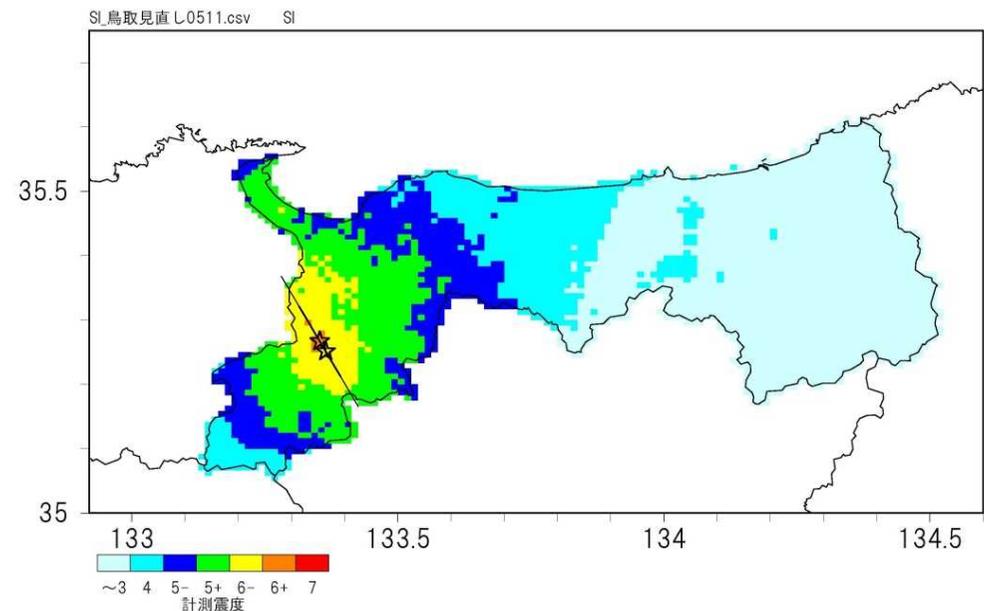
予測結果：鳥取県西部地震断層（工学的基盤震度分布）

<修正前後>



↑修正前

修正後→

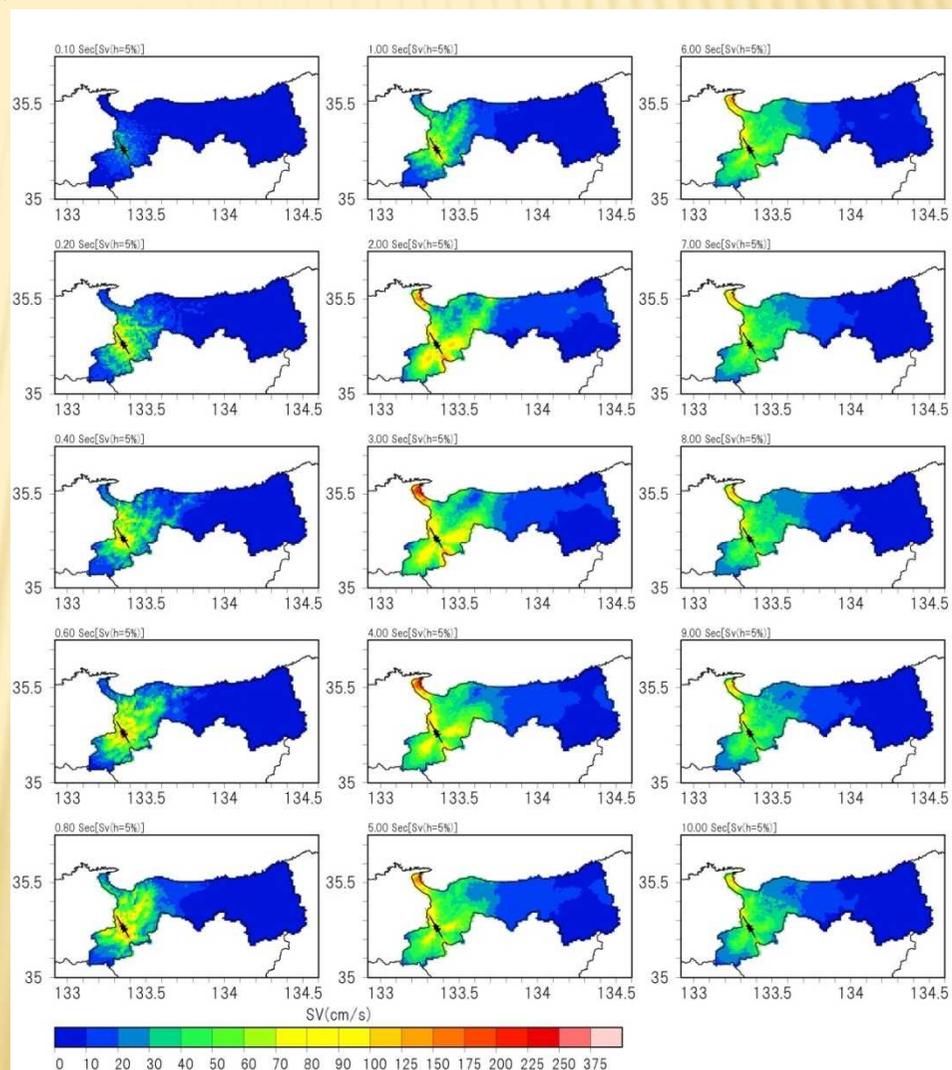


地震動予測結果（ハイブリッド合成法）（4）

予測結果：鳥取県西部地震断層（工学的基盤）

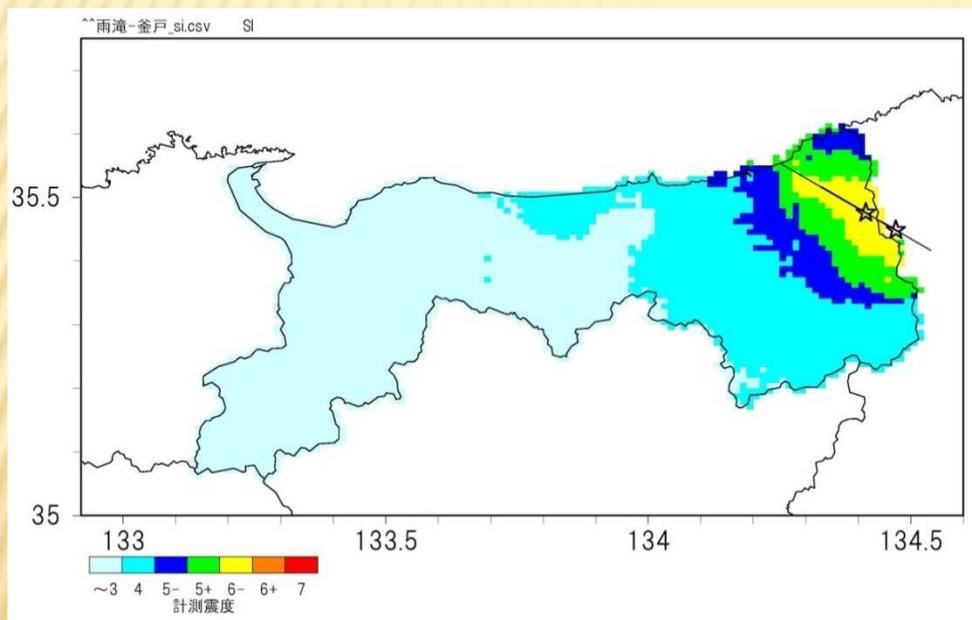
<修正後>

Sv（減衰5%）
（水平2成分ベクトル合成）



地震動予測結果（ハイブリッド合成法）（5）

予測結果：雨滝－釜戸断層（工学的基盤震度分布）



<修正なし>

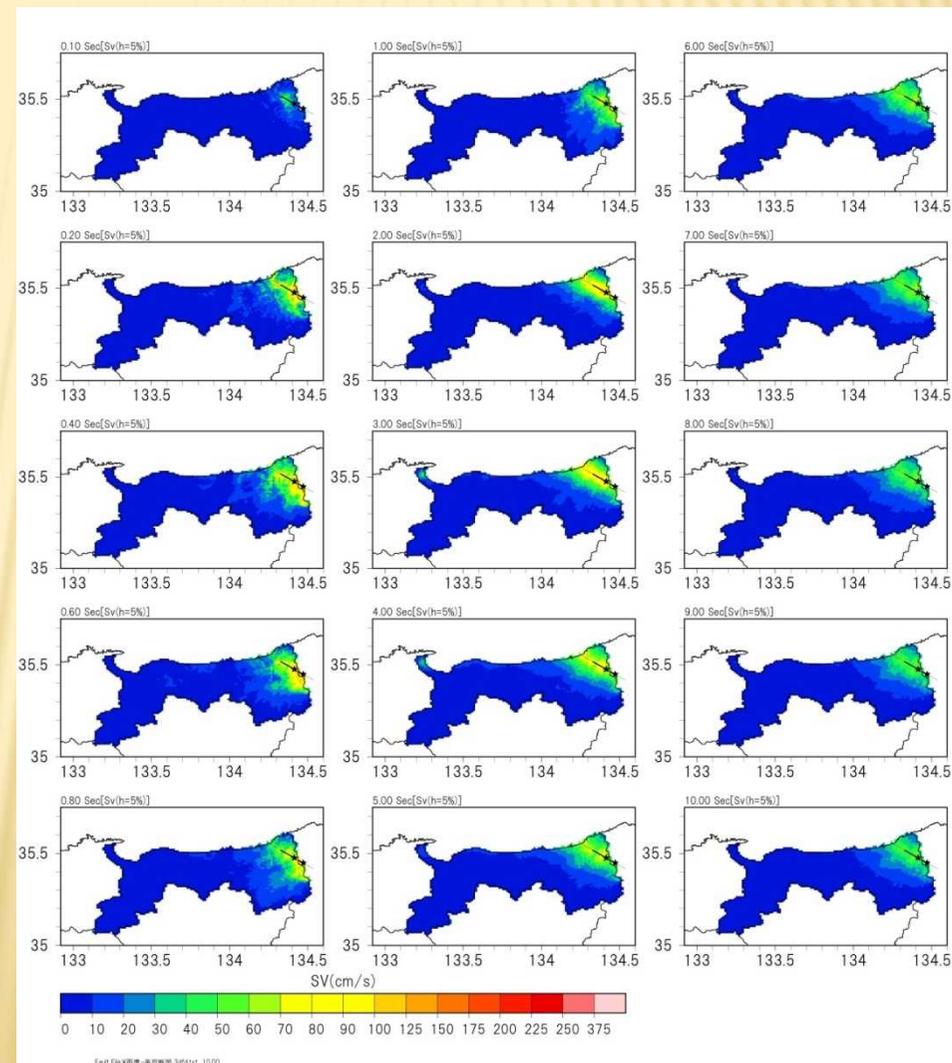
↑ 前回結果の再掲

地震動予測結果（ハイブリッド合成法）（6）

予測結果：雨滝－釜戸断層（工学的基盤）

<修正なし>

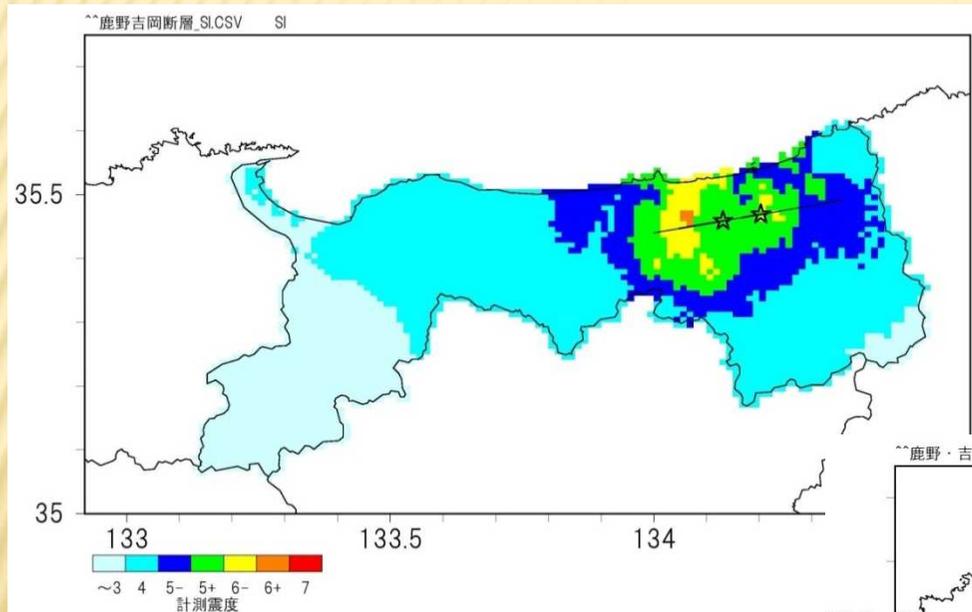
Sv（減衰5%）
（水平2成分ベクトル合成）



地震動予測結果（ハイブリッド合成法）（7）

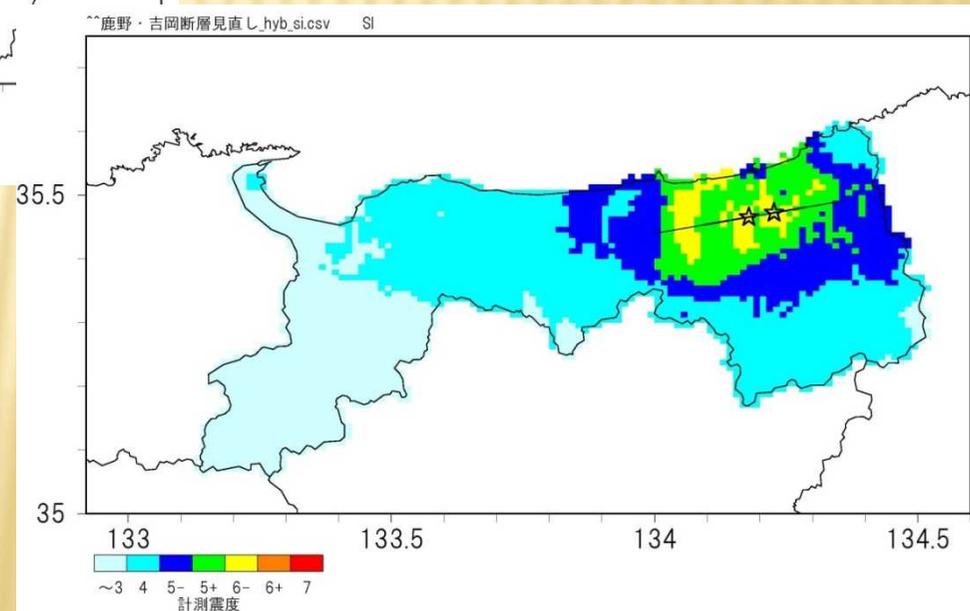
予測結果：鹿野・吉岡断層（工学的基盤震度分布）

<修正前後>



↑修正前

修正後→



地震動予測結果（ハイブリッド合成法）（8）

予測結果：鹿野・吉岡断層（工学的基盤）

<修正後>

Sv（減衰5%）
（水平2成分ベクトル合成）

